

第5回雲南市下水道事業に関する審議会 議事録

1. と き：平成26年8月27日（水） 午後1時25分～午後2時30分

2. ところ：雲南市水道局1階会議室

3. 出席者

（審議会委員）

金山壽忠会長、若槻秀夫副会長、難波治美委員、坂田和子委員、勝部新治委員、
塔間絹子委員、難波 勝委員、陶山保子委員、片寄健治委員、坪倉要輔委員

（委員10人）

（事務局）

藤井副市長

稲田水道局長、岸野次長、土屋営業課長、飯島工務課長、須田下水道課長、新田GL

藤原統括主幹、山本副主幹技師（事務局9人）

[次第]

1. 開会（須田）

2. 委嘱状交付

(1) 欠席者の報告（石橋正俊委員、本間良一委員 2人）

(2) 雲南市下水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席して
おり会議が成立していることを報告。

3. あいさつ

藤井 勤 副市長

4. 会長、副会長の選出

片寄委員から、会長、副会長をはじめほとんどの委員が留任していること。今までの運営
が非常に的確であったこと等から、引き続いて金山会長、若槻副会長にお願いしたいとの発
言あり。

----- 「異議なしの声あり」 及び盛大な拍手あり -----

会長に金山様、副会長に若槻様に決定。（会長、副会長それぞれ指定席へ移動）

5. あいさつ

金山会長

6. 事務局職員自己紹介

-----以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となる-----

7. 審 議

会長

審議に入る。

議題 1 雲南市の下水道事業概要について事務局からの説明を求める。

事務局

(1) 雲南市の下水道事業概要について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

片寄委員

処理人口と接続人口の違いは。

事務局

処理人口とは、管路等が整備された地域の人口の事です。また、整備された地域の中で接続された人口を接続人口といいます。

会長

ほかにないか。次に進めてよろしいか。

それでは、議題 2 平成 26 年度下水道事業会計概要について、事務局の説明を求める。

事務局

(2) 平成 26 年度下水道事業会計概要について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

難波治美委員

合併浄化槽の予算について、50 基とは年間基数か。既に 50 基到達したということか。

事務局

募集については、2 月から 7 月とし、予算に達した時点で終了としております。現在は 36 基程度の発注済み及び人槽算定中の浄化槽を含め、予算一杯という状態です。このため、定住や生活排水処理の推進のためにも、9 月議会に補正を提出することとしています。

難波治美委員

当初の 50 基は消化したということか。また、補正は何基分か。

事務局

当初分については、満杯であります。また、補正については 8 基分を要求しております。

難波治美委員

市民の皆さんは、待っておられる。予算があるかどうかお尋ねの住民も多くおられる。9 月補正で対応できれば良いが、そのへんは如何か。

事務局

補正につきましては、やむを得ない場合の対応という事で、計上締切までの基数のみをあげております。当然の事ながら必要基数を当初予算に反映するのがベストであります。このように不足という事態でありますので、基数の見誤りで大変申し訳なく思っております。

ただ、最近浄化槽の設置実績が下がり基調でありまして、H24 年度には 48 基と 50 基を下回りました。昨年は消費税率の引き上げ前の駆け込み需要や業者の積極的な営業もあり、56

基の設置となりましたが、今年度はH24年度並みの、概ね50基でいけるものとして予算化をしたところです。

年末までのところで、次年度の設置希望の意思表示をしていただければ、適正な反映となりますが、思いつかれた時がいつであろうと直ぐに設置したいという事で、要望される方も相当多くありまして、当初予算で把握しにくいことも事実であります。基数を大目に計上した場合は、補助金返還等で国、県に迷惑をかけることとなりますので、適切な基数による予算計上というのは、非常に難しいものがありますが、今後とも市民の要望に応えるべく、予算計上に努めて参りたいと思っておりますので、ご理解を頂きたい。

片寄委員

普及率が88.1%との説明を受けた。整備率を100%にするためには、浄化槽をあと何基作る事になるか。

事務局

集合処理エリアにあっても同じですが、接続にあつたての便所改修等に相当な費用がかかるという事や高齢世帯、跡取り不在等が整備の進まない要因であると考えております。

浄化槽エリアの整備率は67~68%です。浄化槽の場合は、設置しなければ整備率のカウントになりませんので、まだ3割余りの方が未設置でありますから1000基程度は最低でも整備の必要があります。

片寄委員

現在の同程度の予算措置であれば、100%になるには数十年かかるという事か。浄化槽エリアは、条件的に厳しい場所への設置ではないかと思われ、また、空き家になる等整備が進んでいきにくいと思うが。

事務局

浄化槽設置についての整備率は67%程度でありまして木次町、三刀屋町が平均の67%程度で、最近では、設置基数が少なく、整備率の伸びが鈍化の方向です。大東町につきまして、平均値になりましたが、引き継ぎ、整備の中心となっております、まだまだ、設置要望が多いという現状があります。これから先、平均値に達したことにより他町と同様伸び率が下がるのではと考えておりまして、この後は、補助ベースの最低要件となる20基程度の設置となるものと考えています。但し、今年も大東町の要望が多いという実態があることや設置エリアが他町に比較し格段に広いという事もあり、見通しが立て難いと思っております。

会長

高齢世帯、跡取り不在という事では、なかなか整備は難しいと思うが。

事務局

一昨日、島根県の完了検査を受検しました。その中で、県内においても集合処理エリアにあつては接続率の向上と浄化槽エリアにおける浄化槽の設置について、会長ご指摘のとおり、高齢世帯や跡取り不在の場合は相当難しいのが実態であるという報告を受けたところでありあります。当然繋いでいただいて、料金収入を得たいわけですが、どこの市町も同じく苦慮されています。

啓発活動して個別訪問を実施している市町があります。未接続理由を把握することができませんが、なかなか接続に結びついていないようでありあります。雲南市は維持管理組合ですとか、地域へ出かけまして啓発活動を展開しておりますが、他市町と同じく厳しい状況であります。

会長

中山間地域の人口減少は進んでおり、下水道の場合、空き家が増えるともろに営業経費にかかってくると思うが。

事務局

会長ご指摘のとおり、基本、水道使用量を下水道料金の基礎としていますので、水道使用量が減りますとそのままストレートに料金収入に跳ね返りますので、集合処理リアにおいて人口減少が進みますと、浄化槽よりも更に経営的に厳しくなります。

坪倉委員

先程の関連ですが、こうして人口がどんどん減っていくが、設備投資や維持管理は継続していかなければいけないわけで、その負担は誰かがしなければならない。公債費残高の上昇や、繰入金の問題も出てくると、いずれは料金値上げという事になると思われるが見通しは如何に。

また、行政として料金維持の最低ラインをどの辺に想定しているのか。料金収入が減ったから直ぐに値上げでは問題と思うが。

事務局

合併しまして、20年度に料金体系を統一させていただいております。会計の現状としましては、先程次長がご説明いたしましたとおりで多くの起債償還、基準外繰入金の充当により対応しております。第3回の審議会時にご説明いたしましたとおり、下水道料金としては県下で2番目に安く、また水道料金よりも下水道料金が安いという状況です。水道料金よりも下水道料金が低い事業体が一般的にありまして、雲南市は逆であります。

ただ単に値上げを考えているという事ではなく、まずは経費の圧縮を考えておりまして、先程説明いたしました農集施設の統廃合の検討をすることとしています。また、水道会計は既に企業会計により処理され、会計の透明化を図っておりますが、下水道につきましても企業会計化の話が出てきておりまして、雲南市としてはまずは施設の把握という事で本年4月から嘱託職員1名によりまして固定資産調査をスタートし下水道資産台帳の整備を進めておりますし、今年度、来年度におきまして、現在の施設の劣化具合を調査しまして、今後の更新修繕計画いわゆる長寿命化計画を策定する事としており、それらにより後年発生する経費を把握する事ができますれば、いよいよ料金検討へと入って参ります。その際には、審議会の皆様や義議会へ経費圧縮の取組や後年の負担計画等々について、ご説明をして参りますし、適切な料金といえますか、どこまでの負担を求めるかにつきましても、ご審議頂く事になると考えています。

料金検討の時期についてのお尋ねですが、後年負担の調査及び経費圧縮計画の真ただ中でありますことから、今少しかかると思っておりますので、よろしく願いいたします。

会長

ほかにないか。次に進めてよろしいか。

それでは、議題3 平成26年度下水道主要事業について、事務局の説明を求める。

事務局

(3) 平成26年度下水道主要事業について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

----- 「なし」 との声あり -----

会長

その他について、事務局、何かあるか。

事務局

その他につきましては、ありません。

会長

委員の皆様、全体を通して何かあるか。

----- 「なし」 との声あり -----

会長

今年の今後の委員会の予定についてはどうか。

事務局

通年ですと、5月に当初予算及び事業計画を説明し、10月には前年決算と進捗状況の説明をしております。その他特別な議題がありますれば随時開催としております。今年度は、改選期でありましたので、本日開催をさせて頂きました。この後は、10月末から11月のところで日程調整をさせて頂きまして、H25年度決算、進捗状況説明、施設見学を計画したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

会長

10月末か11月のところで次回の審議会が開催されるので、委員の皆さんの出席をお願いします。また、今後とも審議会の運営について、協力をお願いします。

以上で審議を終了する。

会議終了 14時30分